

## 平成25年度生駒市土地開発公社第2回定例理事会会議録

- 1 日 時 平成26年2月7日(金) 午後3時00分～午後3時25分
- 2 場 所 生駒市役所 401会議室
- 3 理事の定数及び現在数 定数 10名以内 現在数 7名
- 4 監事の定数及び現在数 定数 2名以内 現在数 1名
- 5 出席役員 理事 小紫 雅史、稲葉 明彦、中田 好昭、今井 正徳、奥谷 長嗣、  
出席者 5名  
監事 松山 治幸 出席者 1名
- 6 欠席役員 理事 山本 昇、峯島 妙 欠席者 2名
- 7 説明のため出席した職員 事務局次長 増田 剛一、西川 芳幸  
事務局次長補佐 米田 尚起  
事務局員 伊藤 満美子、牧井 望
- 8 開 会 過半数以上の理事の出席により、理事会は成立
- 9 議事録署名理事指名 今井理事、奥谷理事
- 10 審議事項 議案第11号 平成26年度生駒市土地開発公社事業計画及び予算(案)に  
ついて  
議案第12号 生駒市土地開発公社処務規程の一部を改正する規程の制定に  
ついて

## 1 1 審議内容

議案第 1 1 号 平成 2 6 年度生駒市土地開発公社事業計画及び予算(案)について質疑応答の結果、  
原案のとおり可決された。

(主な質疑等)

松山 監事： 東生駒会社寮跡地の取得資金として土地開発公社が生駒市から借りた借入金の内、  
4 億円について平成 2 5 年度中に生駒市が債権放棄をする前提で作成された予算案  
ということだが、なぜ 4 億円の損失が生じたのか債権放棄の議案審議の際に市議会で  
説明を求められるのではないか。

小紫理事長： 当該跡地に関する経緯等について、市と公社の両方の立場から整理しておく必要が  
あると考える。また、債権放棄の審議の際に市議会において土地開発公社の存続方針  
が議論されることが考えられるが、企業誘致関連道路整備事業用地等、土地開発公社  
が先行取得した方が国交付金を有効に活用できる事例があることから、当面の間は存  
続させる方針である。

松山 監事： 奈良県下では奈良市、天理市、香芝市の土地開発公社が解散しているが、生駒市は  
他市と状況が違うのか。

小紫理事長： 奈良県下の他市公社と比較すると、当公社は当該跡地の売却により長期保有土地が  
ない状況である。

松山 監事： 平成 2 6 年度に取得する土地の予算額の根拠は、相続税路線価か。

事務局： そうです。相続税路線価をベースに予算額を計上しています。

松山 監事： 予算額は概算で、土地を取得する際には不動産鑑定評価書を取るのか。

事務局： 不動産鑑定評価書を取ったうえで土地売買契約を締結します。

議案第 1 2 号 生駒市土地開発公社処務規程の一部を改正する規程の制定について、原案のとおり  
可決された。